

バナナの旅

スーパーマーケットのくだもの売場 ～バナナがいっぱい～



ともこさんは朝ごはんのとき、パンといっしょによくバナナを食べます。けさ、バナナのふくろのラベルに、「フィリピン」と書かれているのを見つけました。「このバナナ、フィリピンから来たんだ！船かな、それとも飛行機で来たのかな？」

ともこさんはインターネットで調べることにしました。家の人に教えてもらいながら、バナナのホームページを開きました。いろいろなことがわかってきて、とても楽しくなりました。

●世界にバナナが広がるまで

今から1万年以上も前にマレー半島で発見され、4000年前にアフリカ東海岸へ伝わり、600年前にアフリカ西海岸へ、そして500年前には南アメリカへ伝わり、さかんに栽培されるようになったと考えられている。

●日本にバナナが来た日

1903年（明治36年）4月10日、台湾から7かごのバナナが神戸港へ来た。この日が商業としてバナナが来たはじめての日とされている。

- ・バナナには種がないが、茎の根もとから出る新芽を畑に植えて、増やすことができるということ。
- ・日本でも沖縄などで、量は少ないが栽培されていること。
- ・バナナには、40cm以上のジャンボバナナや、赤紫色のバナナもあること。
- ・日本へ来るバナナはフィリピン産がもっとも多く、台湾やエクアドルからも来ていること。船で運ばれること。

ともこさんは、くわしく調べてみることにしました。